

平成23年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	平成24年6月26日(火) 福岡第2合同庁舎5階 第1会議室		
委員	牧角 龍憲 (大学教授)	松藤 泰典 (大学教授)	
	植田 正男 (弁護士)	清水 秀幸 (公認会計士)	
	高場 俊光 (大学講師)		

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成24年1月1日 ~ 平成24年3月31日		
審議対象件数	152件		
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	4件		(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 抽出事案について
建設工事	一般競争	1件	
	一般競争 (政府調達協定対象外)	1件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	2件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【建設工事発注実績について】 特になし 【指名停止措置状況について】 ・九州防衛局が起因となって指名停止を受けた業者があるが、その起因となったものはなにか。 ・6ヶ月とした根拠はなにか。		・当局発注の入札において、入札価格が調査基準価格を下回っていたため、低入札価格調査を実施したところ、資料の提出ができないとして辞退したことにより、不誠実な行為ということで6ヶ月の指名停止とした。 ・他省庁の状況も踏まえ、全国的に原則6ヶ月としている。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【抽出案件について】</p> <p>○建設工事について</p> <p>1〔高遊原(23震災関連)整備場新設等建築工事〕 (一般競争)(総合評価方式)</p> <p>・設計施工一括発注方式と標準図等活用発注方式とに分けているが、分離発注なのか。</p> <p>・ボーリングの深さが2.5mに設定されているが、何か理由があるのか。</p> <p>・入札・契約状況調書の中で、2者が無効となっているが、無効の理由を説明されたい。</p> <p>・指名停止等のペナルティーはないのか。</p> <p>・低入札価格調査に応じることができないため、指名停止の措置を受ける場合との違いを説明されたい。</p> <p>・入札参加者が5者というのは、少なすぎるのではないか。</p>	<p>・設計施工一括発注方式と標準図等活用発注方式を組合わせた一括発注である。</p> <p>・過去の周辺地区のボーリングデータに基づき、支持層を2.5m程度と想定している。</p> <p>・入札価格が調査基準価格を下回ったので、品質確保、施工体制の確保を確認するために追加資料の提出を求めたが、資料の提出が行われなかったため、入札に関する条件に違反した入札として、入札を無効にしたものである。</p> <p>・指名停止等のペナルティーはない。</p> <p>・施工体制確認型以外の入札方式の場合は、予定価格内の最低入札者は落札予定者となり、低入札価格調査に応じない場合は、国の契約事務を滞らせたということになり指名停止の措置を受けるが、施工体制確認型の入札方式の場合は、開札の時点では落札予定者とはならないため、追加資料を提出しない場合でも指名停止の措置は受けない。</p> <p>・今回は、震災関連の発注工事のため、九州局発注の同様な工事においても4者の入札参加であり、他の発注機関と業者を取り合う形となったため、入札参加者が少なくなったのではないかと思われる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>2 [大村外(23震災関連)非常用電源施設新設等電気その他工事] (一般競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7者のうち3者の辞退とはどういうことか、推測はついているか。 ・ 震災関連は今後もでてくるのか。 ・ 平常時とは少し違うだろうから一般工事とは比較にならないものがあると思われるため、震災関連と通常の工事と区別して統計等とられるとよいかと思います。 ・ 第2回入札において、1回目と金額の順位が逆転しているが、1回目に高い金額をいれた業者は、次に相当がんばらないといけないということはわかるのか。 <p>○建設コンサルタント業務等について</p> <p>3 [芦屋(23震災関連)液状化調査] (一般競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の積算はどのようにしているのか。 ・ 国交省の歩掛かりは本件の工程に合うものなのか。 ・ これだけ応札価格が予定価格を大幅に下回っているが、積算の見直しは検討しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推測であるが、震災後に全局で同じような工事を発注している関係から他局にとられたこともあるかと思われる。 ・ 23年度限りである。 ・ はい。 ・ 最低価格を公表の上、予定価格に達していないことを告げている。 ・ 国交省の歩掛かりを基に算出している。 ・ 問題ないと思われる。 ・ 応札業者すべてが低いばかりではないため、一概に予定価格が高すぎるとは思われない。 <p>全国的に低入札が多く発生している傾向にあることから、コンサル業務においては第三者履行確認や工事においては施工体制確認型総合評価方式を取り入れ、品質確保の対策をとりつつある。</p>

		意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>		<p>4〔北熊本(23震災関連)庁舎改修等建築工事監理業務〕 (一般競争：1者応札)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札の理由を説明されたい。 ・同一の技術者が、履行期限内に業務を行わなければならないのか。 ・落札率が高いが、予定価格はどのように積算したのか。 ・1者応札で、しかも落札率も高いということは、やはり震災関連というところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先程、説明させていただいたとおり、震災関連の発注業務であり他の発注機関等との技術者の取り合いになり、入札参加者が少なくなったのではないかとと思われる。 ・同一の管理技術者等が、行わなければならない。 ・標準歩掛等を基に積算している。 ・そのように推測できるのではないかとと思われる。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>		なし	
<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>			
談合疑義件数		0件	<p>(審議概要) 該当案件なし</p>
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	

	意見・質問	回 答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	【談合情報、内訳明細書点検結果について】 なし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）		
審 議 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・順位不動の分析 ・落札率・応札率の分析 ・調査項目別の平均落札率等の分析 ・低落札／不調事案の分析 	
	意見・質問	回 答
○委員からの 質問・意見 ○それに対する 回答等	特になし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	